稲城野草散策の会

野草スケッチ　タニギキョウ（キキョウ科）

1996/05/14　　稲城市百村　　絵と文　Ｔａ

私は山登りは苦手である。
と、威張っていうようなことではないのだが、足腰の弱った肥満体なので、登りはきつい。
では下りは楽かというと、そんなわけはない。

それでも丹沢山塊には何度か登り、何度かへばっている。
最初のときは友人に案内してもらって、行者岳へ登った。
女性もいたので安心していたら、私にとっては死にそうになるほどのペースだった。

会報第１７号　2006年5月２１日発行　発行責任者　尼子　房夫

風が強い春の日だったのに、空冷効率が悪く（？）汗は止まらないし、心臓はオーバーヒートしている。
こんな目に合いながらもとにかく登ったのは、風衝地に咲くという、ある花を見るのが目的だった。

目的の花はしっかりと見ることができた。
それだけでなく、数々の「発見」や「感動」があった。
丹沢には、私が知らなかったすばらしい植物がある。
また行ってみたいが、あれでは同行者に迷惑をかけるだけだ。
もっと楽に登る方法はないのだろうか。

地図上で検討した結果、林道を車で登って標高を稼げそうなルートを見つけた。
ここからなら、２時間弱で丹沢山（１５７０m）の頂上へ行ける。
このルートを使って丹沢山には5回ほど登った。
知らなかった世界が急に開けた感じだった。
（現在、その林道は閉鎖されており、車での通行はできない。）

５月に登ったとき、丹沢山の頂上近くに咲いていたタニギキョウを、同行者に教えてもらったことがある。
弱々しい感じながら、なぜか心惹かれるものがある花だ。
こういうものが見られるのだから、多少苦しくても山へ登る価値があると思った。

２度目にタニギキョウを見たのは、北海道だった。
パソ通で知り合いになった方の案内で野幌自然公園へ行ったときだ。
豊かな森の中の散策は気持ちがいい。
公園内の林道脇にタニギキョウが群がって咲いていた。
さすが北海道、大した標高もない土地なのに・・・と思った。

タニギキョウとの３度目の出会いは、千葉県四街道市である。
四街道市の郊外にある谷戸（千葉県では谷津という）を歩いたとき、農道の畦にびっしりと咲いているではないか。
いままで、苦労して山へ登ったり、遠くへ出かけたりしなければ見られないと思っていた花である。
をいをい、こんなところにも咲くのかよ、という感じだった。

４度目は、何を隠そう、稲城市内だ。
まさか、とは思ったが、たしかにタニギキョウである。
もう驚かないぞ、とつれないそぶりを見せたが、よくまあ稲城までお越しくださいました、と心の中で感謝感激しているＴａさんであった。

いまのところ、稲城市内での確認ポイントは１ヶ所だけである。
よって、場所はマル秘ぢゃ。
稲城にあることは、誰にも言ってはならんぞよ(^_^;)

〔観察記録〕４月２３日　裏高尾・小下沢

午後から２mm 程度の雨が降るという予報で敬遠された方もあったかと思います。３２名の方が参加されました。雨は数滴降っただけで全然問題がなく、快適な観察会になりました。スミレの仲間、ネコノメソウの仲間、ラショウモンカズラ、ジロボウエンゴサク、ムラサキケマン、ミヤマキケマン、ヤマルリソウの群生など、スプリングエフェメラルを堪能出来ました。この時季にはよい観察場所だと思います。(FAM)
お渡しした資料に載っていなかったもの：
ケヤキ、コアカソ、イラクサ、ミズヒキ、イタドリ、ノミノツヅリ、ユリノキ、シロダモ、ボタンヅル、ハンショウヅル、クサボタン、セリバヒエンソウ、ミツバアケビ、ヒトリシズカ、フタリシズカ、フタバアオイ、シロヤブケマン、タケニグサ、ショカツサイ、ヒメウツギ、マルバウツギ、ユキノシタ、ミツバツチグリ、ノイバラ、クマイチゴ、ユキヤナギ、ナンテンハギ、カントウミヤマカタバミ、ナツトウダイ、マツカゼソウ、コクサギ、チドリノキ、ミツデカエデ、イタヤカエデ、ツルウメモドキ、マユミ、ミツバウツギ、ナツボウズ、アメリカスミレサイシン、アマチャヅル、ミズキ、ハナイカダ、ウコギｓｐ、タラノキ、キヅタ、ウマノミツバ、イワガラミ、バイカツツジ、イボタノキ、フデリンドウ、ヤエムグラ、アカネ、ムラサキシキブ、オウギカズラ、ジュウニヒトエ、レモンエゴマ、ウグイスカグラ、ヤブデマリ、レンプクソウ、ツルカノコソウ、モミジガサ、アズマヤマアザミ、ハルジオン、ヤブレガサ、カントウタンポポ、ホウチャクソウ、チゴユリ、サルトリイバラ、ホトトギスｓｐ、エンレイソウ、ウラシマソウ、アオスゲ、カワラスゲ、ヒカゲスゲ、ミヤマカンスゲ、オオイトスゲ、タガネソウ、ヤマイタチシダ、オオイタチシダ、キヨタキシダ
ウリノキ、ツタウルシ、ツルネコノメソウ、ナルコスゲ、ミヤマハコベ
ご参考までに。(FAM)

のんびり歩いて、たくさんの植物たちに出会えて、いい一日でした。
前日に一人で歩いたときには気がつかなかった花もあったりして、やはりたくさんの目があると違いますね。
今回、特に印象的だったのはレンプクソウとフジキです。
レンプクソウは長沢さんに教えていただかなかったら、気づかなかったと思います。レンプクソウの分布の不思議と、北と南では染色体の数が違う、という話をしたことがきっかけで、九州のレンプクソウ研究者、稲葉さんのことが話題になりました。
2000 年のウラジオストックツアーで稲葉さんと出会い、レンプクソウに関する話題をいろいろお聞きしたことがあったのです。
その稲葉さんと長沢さんが旧知の間柄だったとは・・・
月並みな表現ですが、世間は狭いと思いました。
フジキは「この木何？」と訊かれなければ、気がつかなかったと思います。
まだ葉が展開していない裸の大木。見上げれば唐草模様のような枝ぶりで、複葉の葉軸と思われるものが残っている・・・思わず、フジキ！と叫びました。
今なら袋を被った冬芽を見られるかも知れない。リュックから秘密兵器？を出して、さらに hige さんの一脚につないで、どうにか３mほどの高さの枝を引き寄せることができました。
以前、送ってもらった小枝の冬芽をスケッチしたことはありますが、フィールドで「実物」を見るのは初めてでした。
それ以外にもツルネコノメとかオオギカズラとか、いろいろ見ることができたのは私にとって大成果です。
雨もほとんど降らなかったし、ささやかも楽しかったし(^_^;)、いい一日でした。
参加の皆様とフィールドに感謝！です。
ありがとうございました。（Ta）

〔行事記録〕４月２７日　バスハイク・函南原生林

バスハイクに行って来ました。天気予報は雨、調布を出発した頃から雨が降り始め、目的地の富士箱根ランドまでは相当に雨が降っていました。皆さん心配顔。それでも途中のサクラやツツジの花にはきれいという声が上がりました。ホテルに到着した途端、雨が止みました。歩いている間は時々ポツポツ程度で、しばらくすると日も差してきて、天気を気にしないで歩くことが出来ました。
「不伐の森」ということで、樹令７００年のブナは倒れてしまっていましたが、アカガシの巨木は健在で、さすがという気がしました。そのほかにも巨木が多く、エゴノキらしくないエゴノキの巨木も見られました。ヒメシャラやイヌガシなど

も多く珍しく感じました。ツルシキミが多く、それにシキミ科（モクレン科と表示）のシキミもあって花が咲いていました。
シコクスミレ、コミヤマスミレなどのスミレの仲間、ヤマルリソウ、タニギキョウ、トウゴクサバノオ、ミヤマカタバミ、ハルトラノオ、コチャルメルソウ、それにランヨウアオイが沢山の花をつけていました。
いつもとは一味違ったフィールドで、楽しんでいただけたのではないかと思います。(FAM)
【函南原生林データ追加】お配りしたデータのほかに今回記録したもの：
ミヤマハコベ、カツラ、カンアオイ、マルバコンロンソウ、オランダガラシ、ウツギ、ヤマテリハノイバラ、ミヤマフユイチゴ、マルバフユイチゴ、シモツケ、ユキヤナギ、ニシキギ、ミツバウツギ、ツルグミ、オトメスミレ、スミレ、コミヤマスミレ、トチバニンジン、トウゴクミツバツツジ、イボタノキ、フデリンドウ、ハナイバナ、キランソウ、ムラサキサギゴケ、ツクバネウツギ、サンゴジュ、ゴマギ、モミジガサ、ヤブタビラコ、カタクリ、ヤマノイモ、オニドコロ、ミズバショウ、トウゲシバ、クラマゴケ、オオハナワラビ、ウチワゴケ、シシガシラ、ジュウモンジシダ、キヨタキシダ、ノキシノブ
メタセコイヤ、ムラサキケマン、イワボタン、モミジイチゴ、ニオイタチツボスミレ、ツボスミレ、ウグイスカグラ、ホウチャクソウ(FAM)

〔観察記録〕４月３０日　三沢川下り

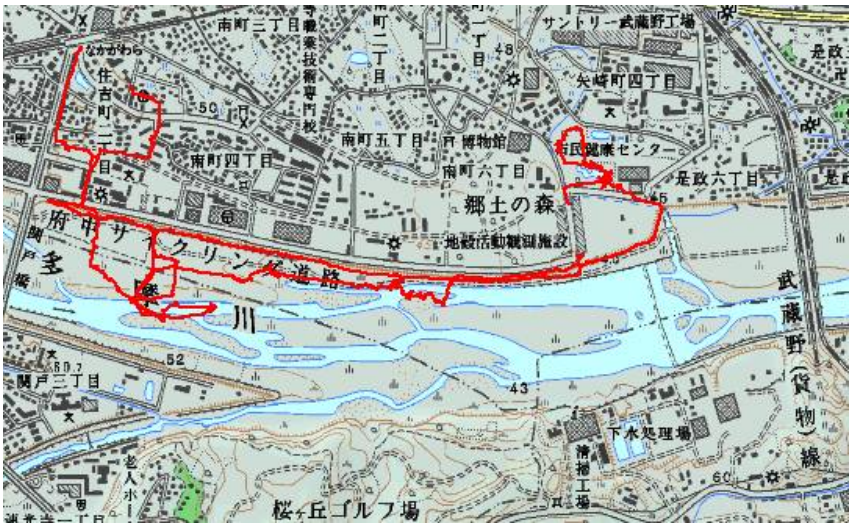
快晴の好天気に恵まれてなんと９２名もの大勢の方の参加がありました。
いろいろ観察出来ましたが、ショカツサイ、イチリンソウ、ジュウニヒトエの群生、ヤマルリソウ、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、フデリンドウ、モモイロキランソウ、クチナシグサなど記憶に残ったのではないでしょうか。それと休耕田には思いのほかにいろいろなものがあって面白かったですね。
お配りした資料に入ってなかったもの：
ヤマモモ、イヌコリヤナギ、サワシバ、アラカシ、ウバメガシ、ムクノキ、ケヤキ、ミゾソバ、ヒメツルソバ、ノミノツヅリ、ツメクサ、アブラチャン、アオツヅラフジ、カンアオイ、チャノキ、シロヤブケマン、マルバマンネングサ、ヤエヤマブキ、レッド・ロビン、モッコウバラ、ハナズオウ、イモカタバミ、オオバベニガシワ、ケンポナシ、アカバナユウゲショウ、ヒルザキツキミソウ、ヤツデ、カノツメソウ、ハナグルマ、ツルニチニチソウ、ヤブムラサキ、ボタンクサギ、ハアザミ、ホタルブクロｓｐ、キッコウハグマ、シラヤマギク、サジガンクビソウ、ヒヨドリバナ、ハナニガナ、ハナニラ、ホトトギスｓｐ、コウガイゼキショウ、ガマsp　(FAM)

〔行事予定〕2006/５/２１（日）　芦ヶ久保

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、１０分　西武池袋線・芦ヶ久保駅　改札口付近 ※会旗目標 改札口は一箇所です
交　通	快速急行に乗り芦ヶ久保駅下車（池袋から直通あり） 池袋08:36→所沢09:01→飯能09:26→東飯能09:28→芦ヶ久保 10:08 が便利
行く先 （解散場所）	芦ヶ久保・日向山 西武池袋線芦ヶ久保駅　ｐｍ３時半頃解散予定
地図	
コース	芦ヶ久保駅～フルーツガーデン駐車場～農村公園入口～山の花道駐車場（昼食）～日向山～琴平神社～白髭神社～芦ヶ久保駅（１５：３０頃）　行程：約５ｋｍ。標高差（駅～日向山）約３３０ｍ
見所 その他	樹木ではヤブデマリ、ツクバネ、ツクバネウツギ、ウラジロノキ、ツツジ類など。 草本では、う～ん、フタリシズカ、ミヤマナルコユリ、ミヤマエンレイソウあたりでしょうか。

※ 小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

2006/5/27（日）　多摩川・府中

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、京王線・中河原駅　改札口付近　※会旗目標 改札口は一つです
交　通	京王線をご利用下さい 急行、準特急、特急は止まりませんのでご注意下さい。各駅停車、快速をご利用下さい
行く先 (解散場所)	多摩川河原、健康センターｐｍ３時頃解散予定
見所 その他	お目当てのレンリソウが見られるといいのですが、ほかにもいろいろ河川敷の植物を観察します
地　図	
コース	京王線中河原駅前～（鎌倉街道）～関戸橋～多摩川河原～健康センター・バス停 コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

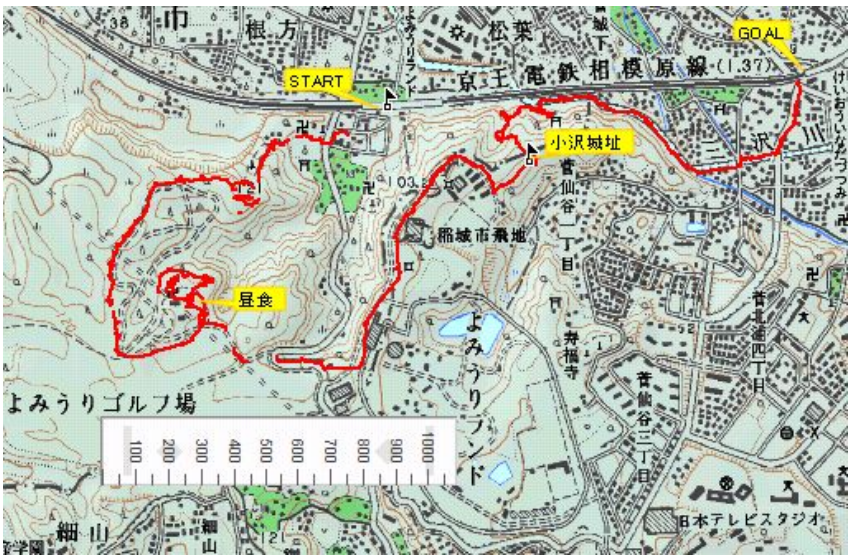
※ 小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

〔お知らせ〕

●稲城野草散策の会では、会のバッジをお渡ししています。昨年以来５回以上この会に参加された方に差し上げていますので、「５回参加した」という方は世話役の尼子までお申し出下さい。

〔行事予定〕2006/6/18（日）　ありがた山

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、京王相模原線・京王よみうりランド駅 改札口付近　※会旗目標　よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交　通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で３駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて４駅目 よみうりランド駅に急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 （解散場所）	京王相模原線・稲田堤駅　ｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	ありがた山石仏群についてはＨＰ野草スケッチ「ジロボウエンゴサク」のエッセーにも説明があります オニノヤガラ、ギンリョウソウなど、梅雨時に出る腐生植物が見られます。冬虫夏草の一種も出てきそうです
地　図	
コース	京王よみうりランド駅→妙覚寺→ありがた山石仏群→雑木林散策→妙法寺（昼食）→よみうりランド→小沢城址→京王稲田堤駅（解散） 行程５～６ｋｍ、多少のアップダウンがあります（標高差１００ｍ以下） コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円